

【パリ五輪】セーヌ川で泳いだトライアスロン選手、体調不良に その後の種目を棄権



GETTY IMAGES

| ベルギーのクレア・ミシェル選手

5時間前

パリ・オリンピック(五輪)で、セーヌ川で泳いだトライアスロンの出場者に体調不良者が出ている。セーヌ川は水質が問題となり、競技が延期されるなどしている。今後もマラソンスイミングなどがセーヌ川で予定されている。

ベルギーのクレア・ミシェル選手(35)は、7月31日に開かれたトライアスロン女子に出場。38位でフィニッシュした。

その後、体調を崩し、ベルギーは5日の混合リレーを棄権した。

ベルギーのメディアは、同選手が大腸菌に感染したと報道。一方、同国チームの関係者はBBCスポーツに、大腸菌には感染していないと述べた。

同国チーム側はまた、ミシェル選手の体調不良とセーヌ川で泳いだこととの関連は、定かではないとした。

ベルギーの国内オリンピック委員会によると、ミシェル選手は選手村のクリニックを訪れたが、病院に運ばれることはなかったという。

同委員会は、どういう病気なのかは明らかにせず、棄権は「選手たちと関係者との協議の結果」決定したとした。また、「今後のトライアスロンの大会の教訓としてほしい」と付け加えた。

一方、スイスのチームは3日、トライアスロン男子に参加したアドリアン・ブリフォード選手が胃の感染症にかかり、混合リレーを棄権すると発表した。

水質改善をアピールしてきたが

セーヌ川の水質の悪さは、大会前と開幕後にも大きな話題となった。水質検査は毎日実施されてきた。

水質の問題から、トライアスロン男子は予定より1日延期されて実施された。混合リレーのスイムの練習も4日、2日連続で延期となった。

混合リレーをめぐっては、選手の準備時間確保のため競技を遅らせるよう、いくつかのチームから要請が出た。だが結局、予定通り5日朝から実施された。

国際競技連盟のワールド・トライアスロンと、パリ2024組織委員会は共同声明を出し、「最新の検査結果では、トライアスロン会場のセーヌ川の水質レベルがここ数時間で改善されたことが確認された。今後に向けた分析では、水質はワールド・トライアスロンが容認するレベルに収まると予想されている」としていた。

セーヌ川では、8日と9日に水泳のマラソンスイミングが予定されている。また、28日開幕のパラリンピック

クでも、パラトライアスロンの競技が開かれる。

セーヌ川での水泳は、高レベルの汚染と病気の危険性から、100年以上禁止されていた。しかしフランス当局は、大会のレガシーとしてセーヌ川を泳ぐことのできる川にしようと、大金を投じてきた。大会組織委は、約14億ユーロ(約2230億円)が費やされたとしている。

パリのアンヌ・イダルゴ市長は五輪開幕の直前、自らセーヌ川で泳ぎ、浄化活動の成果を強調。検査でも、水泳可能な水質だと示されていた。

しかし、開幕した7月26日と翌27日に激しい雨が降り、水質は悪化していた。

(英語記事 [Belgium out of triathlon relay as athlete falls ill](#))

関連トピックス

2024年パリ五輪

フランス

環境

欧州

オリンピック

スポーツ

関連コンテンツ



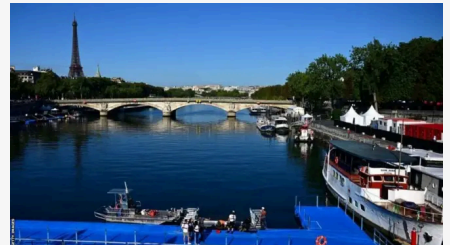
【パリ五輪・パラ】 浄化されたセーヌ川で遊泳、市長やBBC特派員も

2024年7月18日



【パリ五輪・パラ】 安全対策は「万全」と組織委会長 セーヌ川での開会式にも自信

2024年4月18日



【パリ五輪・パラ】 セーヌ川でのトライアスロン水泳、中止の可能性 水質問題で

2024年4月11日

トップ記事